

緑の風 FAX版



NO. 138 2019年6月3日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

第7回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭に参加しました!



6月2日、南相馬市小高区で、第7回南相馬市鎮魂復興植樹祭が開催され、全体で約2,000名が参加し、JR東労組本部の取り組みとして25名が参加しました。また、地本の取り組みとして多くの仲間も参加しました。

当日は晴天に恵まれ、一本一本丁寧に心をこめて植樹しました。今回の植樹祭では25,000本を植樹し、仙台、千葉、東京、横浜地本でドングリから育てられた苗木2,800本も植えられました。

南相馬市鎮魂復興植樹祭では、市民の手で植えることにこだわっており、多くの家族連れも参加していました。企業の参加も多く、イベント化していることの懸念がありましたが、今回は市民の目線に近い植樹祭となりました。今後も、津波や台風等の自然災害に強い森の実現を目指します。

また、植樹祭に先立つ6月1日には、森びとプロジェクト委員会の取り組みの報告と意見交換を行いました。森びとインストラクターの前田さんから、閉鎖した森びとプロジェクト委員会みちのく事務所の取り組み、森びとプロジェクト委員会の清水さんから、この間の取り組みを報告していただきました。森びとプロジェクト委員会が、地球温暖化を止めることを目的に組合員や市民とともに森づくりに取り組んできたことが報告されました。今年3月、世界規模で温暖化反対のデモが行われましたが、日本では230人しか参加していないという厳しい現実も語られました。

市民と共に声を上げることや植樹をすることなど、出来ることはたくさんあります。地球温暖化防止に向けて一人一人が行動しましょう!



震災の経験や教訓を後世に継承していこう!